



育児取得時の周りの反応や

不安に感じたことは？

私達は、夫婦で一年半の育児を取得しました。妊娠が発覚したのがちょうど年度が変わる頃だったため、年度当初から育児取得を見越した業務分担をしていたできました。職場の皆さんには大きな負担をかけたし、まいし申し訳ない気持ちがありました。が、上司の方々が「仕事の事は全く気にせず、思い切り育児をしてきて」と快く送り出してくださり、スムーズに取得することができました。大変感謝しています。



職場に復帰する前、不安に感じたことは？

子育てをしている諸先輩方を見ていると、育児と仕事との両立の大変さが伝わってくるため、復帰後の生活が不安でした。

水道整備課 建設担当 社会援護課 給付調整担当

角田 啓佑

略 歴

2012年 4月採用

2016年 現所属に異動

2022年 第1子誕生・育児休業取得

角田 麻登香

略 歴

2011年 4月採用

2020年 現所属に異動

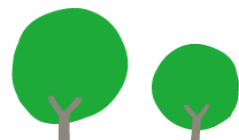
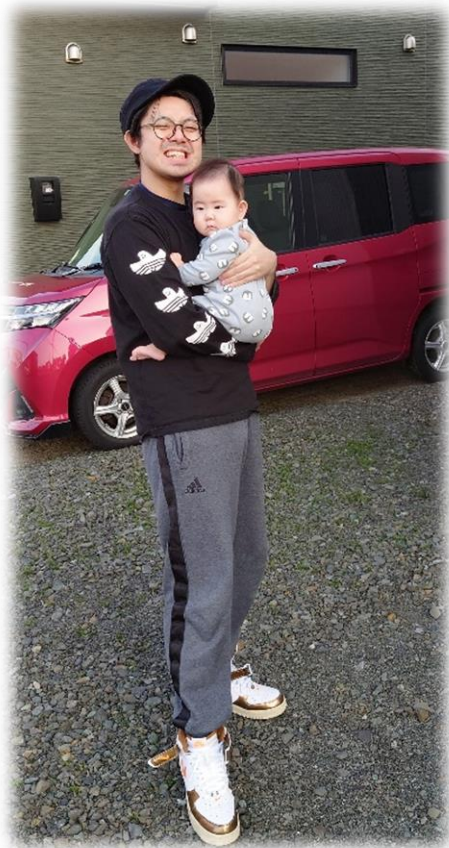
2022年 第1子誕生・育児休業取得



取得してよかったと感じたことは？

【麻登香】夫婦で育児を取得して、子育てのすべてを夫と一緒に経験することができたこと。子育てについて一緒に悩み、考え、相談しあい、時には愚痴を言いながら、常に二人体制で育児ができたことで、心身ともに負担が軽減されたように思います。子どもについての「あの時こうだったよね」を夫婦ですべて分かり合えるのは、同じ期間育児を取得できたからこそだと思います。

【啓佑】負担の軽減と子への影響です。育児はとにかくやることが多く、人手はあるに越したことはないと感じました。何かをしようとしても、あやしたり、オムツがえをしたり、イタズラを止めたり等々、アクシデントと並行しながらとなるので、気がつけば何もできないまま時間だけが過ぎていたということも。二人いると、常に分担できるので、時間に余裕を持つことができ、子どもに対してイライラせずに向き合うことができたことがとても良かったです。穏やかな環境で子どもを健やかに育てられていると感じました。





M

取得を検討している方へのメッセージ

【麻登香】子どもとたっぷり過ごせるのは、育休の期間だけのように思います。あっという間に赤ちゃんから子どもに成長していった我が子を見て、赤ちゃんの時期は本当に短いのだと感じます。赤ちゃんだった我が子との思い出は、苦楽問わずこれからの人生にとってかけがえのない大切なものとなると確信しています。

育休を取得する上で、職場の方々への負担や収入面等、不安は様々あると思いますが、私はぜひ取得することをおすすめします！

【啓佑】一年間の育休を取得することで、夫婦での経験の共有がとても大切だと感じました。朝から晩まで子どもと一緒に過ごす、これを一年間経験することで「よくわからないから、任せるよ」といったことがなく、明日の予定や服のサイズ、在庫確認や歯磨きの仕方等々、一つ一つ一緒に積み重ねていくことができるようになります。

その結果、子どもを大切に思う気持ちが強まっただけでなく、妻を大切に思う気持ちも強くなりました。

男性の育休の長期取得には色々な考えがありますが、私はとてもかけがえのない時間になったと思います。一週間、一ヶ月ではなく長期取得してほしいと私は思います。

